

高山工業高校スキー部 活動紹介

○部員

AL 3年生 0名
2年生 3名 (丹生川・北稜・三輪)
1年生 2名 (宮・朝日)
CC 2, 3年生 0名
1年生 2名 (朝日)
男子6名 女子1名 合計7名

0B との合同練習にて



○これまでの実績

インターハイ GSI6 位
国民体育大会 GSI8 位 全国高校選抜スキー大会 GSI8 位
国民体育大会クロスカントリーリレー競技 5 位入賞

○工業高校スキー部の特色

- ・岐阜県の強化指定団体として認定されています。(清流アスリート強化指定)
 - ・選手個人の課題に応じたトレーニングを充実させることができます!
 - ・実際の雪(乗鞍)でのベーシック TR にて滑走練習を行い、技術力を高めます。
 - ・歴史あるスキー部ですので 200 名を超える 0B 会が組織されており、様々な形で応援していただけます。(遠征費や用具の補助があります)
- *他校に比べ、乗鞍を多く活用し、スキーでの滑走量の確保を大切にしています。
その中で、技術論を理解し習得に向けてフィジカルトレーニングを組み立てます。

○スキー部の生徒の進路先 過去15年 *進学はスポーツ推薦で受験

進学

日本体育大学 体育学部 体育学科・・・中, 高保健体育科免許状取得 公務員
中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科・・・中, 高保健体育科免許状取得
近畿大学 3 名 経営学部 経営学科・・・中, 高社会科免許状取得(自営業)
京都産業大学 経営学部 経営マネジメント学科 (在学中)
大阪産業大学 経済学部 経済学科・・・岐阜県警
愛知工業大学 経営学部 スポーツマネジメント学科・・・大手警備会社
東海医療工学専門学校・・・消防士 (2 名が高山市で採用されています)

就職

アイシン AW (学園生) 大同工業特殊鋼 (学園生) ジェイテクト (学園生)
トヨタ自動車 (学園生とスキー部) 日本軽金属 ヤマザキマザック
柏木工 新興自動車 JA ミート 自衛官 トータルサービス など

○1 年間の流れ

- 4 月～ 5 月 体の使い方や全身持久力のトレーニングを中心に実施します。
5 月～ 11 月 夏休みは乗鞍での滑走練習で基本的技術を身につけます。
全身持久力、筋力、筋持久力、体幹、柔軟性といった必要なフィジカルを鍛えます。

高山工業高校スキー部 活動紹介

- 1 1月～1月 郡上での雪上、遠征（中国・北海道）等で実践的なトレーニングを行います。
各種予選会（1月中）
- 2月 インターハイ・国民スポーツ大会 各種ポイントレース
- 3月 全国高校選抜スキー大会（1, 2年生の全国大会）各種ポイントレース

○工業高校の特徴

授業に関しては、普通教科と各科の専門教科（実習含む）を学習します。よく心配されるのは、普通教科の学習レベルが各大学で通用するのか？ということです。しかし、本校では多くの普通教科において習熟度別、もしくは、少人数での授業を展開していますので、基礎・基本が身に付きます。その結果、本校スキー部OBには進学後、大学の学習についていけなかった卒業生は今までにいません。また、本校には校内にトレーニングルームや合宿施設もあり、部活動に取り組む環境は整っております。

○年間の経費について

「スキー競技＝莫大なお金がかかる」というイメージが定着しているようですが、主な経費は以下の通りです。

- ①マイクロバス（部車）の運営費
- ②個人の用具代（ここは個人差が出ます）
- ③冬季の合宿費（宿泊費・リフト代・昼食費の実費）

※本校OB会より補助があります！また、強化費からも補助します。

移動費、コーチの宿泊費等のコーチ経費は学校もしくは岐阜県スキー連盟より支出。

◇岐阜県スキー連盟の強化事業についての参加は強制ではありません。地元でのトレーニング環境の確保もSAGスキークラブUI8を中心に行っています。

- ④SAGスキークラブUI8に加入し、学校ではできない範囲のTRをしています。

※県代表、学校代表として全国大会に出場すると学校より補助があります！

- ⑤傷害保険にも加入します。（工業高校スキー部として）

○インターハイ、全国高校選抜大会等の出場枠について

インターハイは県枠の出場枠と各学校の出場枠があり、予選で県枠内に入っても、各学校3名までしかインターハイには出場できません。県枠は、過去2年の成績によって増減します。

全国高校選抜大会は1, 2年生の全国大会となりますが、FISポイント、SAJポイントのランキングによって出場資格が与えられる大会です。

